お知らせ

■■工場排水管理技術講習会■■

工場排水の処理方法および処理施設の管理技術について，知識及び技術の向上を図ることを目的に工場排水管理技術講習会を開催します。

日時：令和2年2月21日（金）
会場：鹿児島県工業技術センター　大会議室
定員：150名程度
参加費：無料

〈お問合せ先〉
工業技術センター　食品・化学部
電話：0995-43-5111
FAX：0995-64-2111

■■鹿児島県本格焼酎技術研究会30周年記念講演会■■

本研究会は，県内焼酎製造技術者の研鑽の場として設立され，焼酎の品質向上と業界発展のために活動してきました。このたび発足30周年を迎えるにあたり，薩摩焼酎，奄美黒糖焼酎の多彩な魅力を造り手の立場から広く発信し，焼酎をよりおいしく飲んでいただきたく，記念講演会を開催いたします。

主催：鹿児島県本格焼酎技術研究会
日時：令和2年3月11日（水）13:00～17:00
会場：かごしま県民交流センター　県民ホール
定員：500名（入場無料）
全体テーマ：世界，そして新しい時代への挑戦！
焼酎王国114蔵の底力
講師：宮下純一 氏（北京五輪競泳メダリスト）
椰木春幸 氏（食育日本料理家）

そのほか，ベテラン・若手杜氏によるパネルディスカッションを予定しています。

〈お問合せ先〉
同研究会事務局
（工業技術センター　食品・化学部）
電話：0995-43-5111
FAX：0995-64-2111

なお，2月より参加申し込みの専用受付窓口を開設します。

TOPICS

■■高齢者用木製ベンチ研究会を開催■■

12月12日に，県民交流センターにおいて，高齢者用木製ベンチ研究会を開催し，研究会会員を中心に26名の参加がありました。

今回は，FUMIAKI GOTO design 代表 五島史士 氏を講師として招き講演『「思いやりのデザイン」～バリアフリーとユニバーサルデザイン～』を行いました。

講演では，ユニバーサルデザイン（ターゲットを限定しないデザイン）を取り入れ開発した家具や食器などの事例を基に“思いやりのデザイン”の提案があり，参加者との活発な意見交換が行われました。

研究会の様子

TOPICS

■■九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデーで成果を発表■■

9月26日に，鳥栖市民文化会館（佐賀県）において，九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデーが開催され，322名の参加がありました。

九州・沖縄各県公設試による合同成果発表会では，新製品開発に成功した企業と公設試・産総研の研究者が，製品化プロセス，成功のポイント等を発表しました。

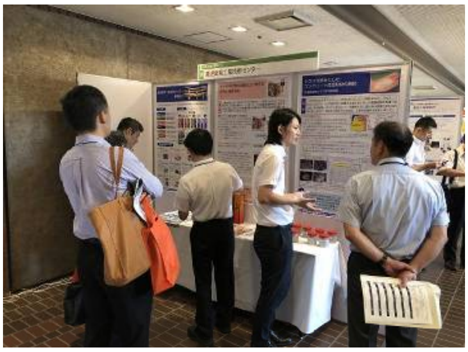
当センターからは，企画支援部　山田研究専門員が，志光窯　下拂　豊志氏とともに「レーザ加工機を用いた立体表現技術の開発ー薩摩焼用型板への展開ー」のテーマで口頭発表及びポスター発表を行いました。

また，以下2件のポスター発表を行い，担当研究員が来場者に対して内容説明を行い，活発な議論を交わしました。

（1）サトウキビ酢の品質向上に関する研究と技術支援

（2）シラスを原料としたコンクリート用混和材の開発

成果発表の様子1



成果発表の様子2

■■IoT体験セミナーを開催■■

10月24日および11月13日に当センターにおいて，ものづくりIoT研究会活動の一環としてIoT体験セミナーを開催しました。

10月24日の同セミナーは，九州経済産業局他が主催し，（株）NTTドコモを講師としてお招きして，IoT活用のポイントについての講演を行いました。

講演後には，加速度センサでロボットアームの稼働状況監視を行うデモを行い，製造ラインを想定した体験会を行いました。

11月13日の同セミナーは，総務省九州総合通信局が主催し，（一社）九州テレコム振興センターらが，IoTの基礎知識に加えて，IoTの技術・関連法制度についての講演を行いました。

講演後には，デモ体験として，誰でも簡単にプログラムが可能な無料ツールを用いて，webカメラで得られた画像の画像判定を行う簡易プログラムを作成し，IoTの活用について体験しました。

参加者は，IoTの活用を体験することができ，導入の方法などに興味を示していました。

体験会の様子

講演会の様子

TOPICS

■■令和元年度JKA導入機器説明会を開催■■

10月25日に当センターにおいてJKA補助事業を活用して，令和元年度に導入した機器の説明会を開催しました。

今回は，「3次元プリンター」と「卓上型X線フィルム自動現像機」の2機器について，座学による各機器の勉強会を行い，実際に導入した機器の見学を行いました。さらに，機器毎に個別の相談会を実施しました。

県内企業から31名の参加があり，活発な意見交換や質疑応答が行われました。

当センターでは，このような説明会を今後も開催し，関連業界に対し設備使用や依頼試験・分析などによる利用促進を図っていく予定です。

説明会の様子

■■繊維染色研究会を開催■■

10月29日にかごしま県民交流センターにおいて，繊維染色研究会を開催し，研究会会員を中心に17名の参加がありました。

今回は，鹿児島大学 牧野特任助教による講演『「かごんまの色」で地域を元気に！～色彩を活用した地域ブランディングの可能性～』を行いました。

講演では，鹿児島大学環境色彩学研究会による「かるかんいろ」，「てげてげいろ」など鹿児島の特産品・言葉・地名などに色をあてはめた「かごんまの色」の紹介と，これを利用した商品化事例や鹿児島の繊維業界への提案があり，今後の展開に対して，参加者との活発な意見交換が行われました。

研究会の様子

■■技術開発等支援制度説明会・個別相談会を開催■■

11月7日に，企業の技術開発等を支援する技術開発等支援制度説明会・個別相談会が当センターで開催されました。

同説明会では，九州経済産業局，科学技術振興機構，中小企業基盤整備機構九州支部，物質・材料研究機構，かごしま産業支援センターから県内の企業向けに，研究開発から事業化までの様々なステージで活用できる支援制度の紹介があり，県内企業など36名が参加しました。その後の相談会では，複数の企業から相談があり，熱心に意見交換が行われました。

説明会の様子

TOPICS

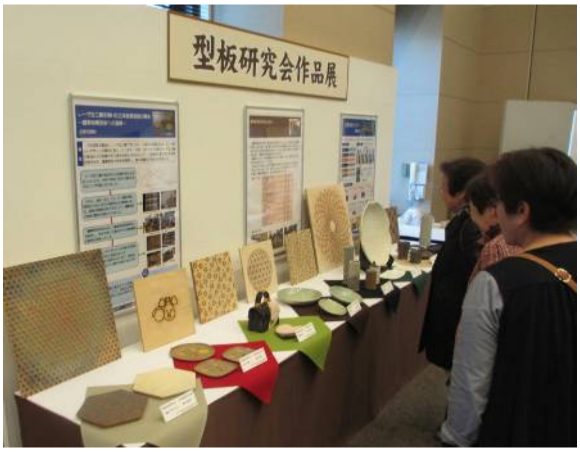
■■研究成果や産学官連携，地域教育等への貢献で受賞■■

　12月1日開催された公益社団法人日本材料学会九州支部総会において，当センター生産技術部の岩本竜一研究専門員が，同学会九州支部のJSMS Kyushu，Professor Awardを受賞しました。
　同賞は，同学会九州支部の活性化につながる学術，教育，支部活動等において，顕著な活動を示した功績に贈られる賞です。
　岩本研究専門員によるこれまでの国内外で発表した研究成果や，産学官連携への貢献及び地域教育等への貢献が認められたことによって，今回受賞することになりました。

受賞者と賞状

■■薩摩焼フェスタに出展■■

　11月27日から12月1日までかごしま県民交流センターにおいて，第30回薩摩焼フェスタが開催され，当センターが運営している薩摩焼型板研究会が出展をしました。
　同研究会は，当センターが開発した薩摩焼用型板（以下，型板）を用いて，新しいデザインの薩摩焼の商品開発を目指した研究会です。
　出展したブースでは，さまざまなデザインの型板や，型板を使って会員の窯元でつくられた薩摩焼を展示しました。
　ブースを訪れた来場者は，細かい柄の再現や型板特有の深みのある仕上がりなどに興味を持たれ，好評を得ていました。



展示の様子

＜表紙の説明＞
　高温多湿な南九州で木質材料を利用する際にシロアリの被害や腐朽を予防するため，木材保存薬剤による防蟻性能や防腐性能の確認試験を行っています。

鹿工技ニュース　No.128
2020年1月号（年4回発行）
https://www.kagoshima-it.go.jp
【発行元／問い合わせ先】
鹿児島県工業技術センター　鹿工技ニュース編集委員会
899-5105　鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1
TEL　0995-43-5111　FAX　0995-64-2111
（禁無断転載）